

山行報告書

作成:2006年4月3日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	法恩寺山～経ヶ岳 [白山周辺]	目的[方法]	残雪の白山展望
期間	2006年4月1日(土)～2日(日)	形態	1泊2日(雪上テント泊)
参加人数	2人		

行動記録:

3/31(金) 快晴、無風、7

岩津市民 C(2110) =0:05= 豊田東 IC(2115) =1:00= 長良川 SA(2215,2230) =0:30= 白鳥 IC(2300) =1:00= 勝原駅(000) 就寝(0:20)

4/1(土) 快晴、微風、-2 起床(6:00)

勝原駅(615) =0:30= 勝山 FM(645,655) =0:20= スキージャム勝山(715,825) -0:10- パラエティクウッドリフト上(835) -0:40- イリュージョンプラザ(915,930) -1:35- イリュージョンクウッド上(1105,1125) -0:30- 伏拝(1155,1255) -0:25- イリュージョンクウッド上(1320) -0:10- 法恩寺山(1330,1400) -1:15- 中の平避難小屋(1515)TS1 就寝(19:30)

4/2(日) 霧雨、微風、5 起床(6:00)

TS1(810) -1:15- パラエティクウッドリフト上(925,930) -0:10- スキージャム勝山 PKG(940,1025) =0:40= たけくらべ温泉(1105,1205) =2:30[千古の家,越前竹人形見学]= けんぞうそば(1435,1450) =0:05= 福井北 IC(1455) =1:30= 関ヶ原 IC(1625) =0:10= 養老 SA(1635,1655) =1:10= 豊田東 IC(1805) =0:10= 岩津市民 C(1815)

概念図:



日誌:

「土曜日夜から崩れる」予報で帰路の心配があるため、経ヶ岳登頂は諦め伏拝までで引き返す計画とした。スキー場指定の登山者 PKG に駐車し、ハトロール詰所で登山届を提出する。退屈なゲレンデ歩きを避け、パラエティクウッド(800円)を利用する。ゲレンデの左縁を歩きレストハウスまで降り、ゲレンデを横断して林道報恩寺線に入る。ここからイリュージョンプラザまでは輸送路のため時折スノーモービルが走るので注意する。イリュージョンプラザでワカンを履き中上級向ゲレンデ脇を直登する。スキーヤー、ボーダーが不思議そうに見ながら滑走していく。高度を稼ぐにつれ、九頭竜川を取り巻く山々の見晴らしがよくなる。荒島岳、銀杏峰、部子山、浄法寺山、大日山とパノラマが広がる。2本の休憩を入れて鞍部に到着する。漸く当初の目的地経ヶ岳が見えた。タツリと雪が付き一段と凜々しく感じられる。左手に赤兎山、その奥に別山、白山と純白の嶺が続いている。しかし陽気が過ぎるのか(黄砂のせい?)白山はペールに覆われボンヤリとしている。残念!賑わい始めたスキー場の喧騒を離れ伏拝へと逃れる。南側に雪庇が張っているので少し北側寄りにルートをとる。伏拝では地元の二人連れが風を避けて昼食をとられていた。我々も隣に陣取り、経ヶ岳を眺めながら昼食とする。この先にも新しいトレースが付いている。一組が経ヶ岳に向かったそうである。薄雲で太陽がボンヤリとしてきた。未練は残るが、またの機会を楽しみに中の平避難小屋に向かう。1階の窓まで雪に埋もれた小屋で、薪ストーブで暖をとりながらユツリ過ごす。

感想:

日曜は午前中が霧、昼過ぎから雷雨で計画変更して正解でした。雨で足場が不安定な雪道も油断なりません。